

中国株ウィークリーレポート

2018/9/3

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,964.82	-22.10	-0.09	0.68	5.04	24,719.22
NASDAQ	8,109.54	21.17	0.26	2.06	17.47	6,903.39
日経225	22,865.15	-4.35	-0.02	1.17	0.44	22,764.94
上海総合	2,725.25	-12.49	-0.46	-0.15	-17.60	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,334.50	-16.59	-0.50	0.28	-17.28	4,030.86
ハンセン	27,888.55	-275.50	-0.98	0.78	-6.79	29,919.15
中国企業	10,875.58	-92.03	-0.84	0.89	-7.12	11,709.30

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は0.8%高と続伸、上海総合指数は0.2%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.8%高と続伸。週初に節目の28000ポイント台を回復すると29日まで3日続伸と好調に推移したが、早ければ翌週にも米国が対中追加制裁の第3弾を発動すると伝わり失速。米中貿易摩擦の激化と長期化を懸念する売りが広がり、31日には再び節目の28000ポイントを割り込んだ。中国本土市場では上海総合指数が週間で0.2%安と反落。人民元の先安観後退を背景に週初こそ続伸スタートとなったが、その後は米中貿易摩擦激化への警戒感から31日まで4日続落と軟調に推移した。

今週の展望: 香港市場は軟調な展開か、対中制裁関税第3弾の発動が焦点

香港市場は軟調な展開が見込まれる。対中制裁関税第3弾を巡り、トランプ大統領が公聴手続きの期限を迎える6日にも発動する方針を示している。実際に発動となれば中国側も報復関税で対抗する見通しで、米中貿易摩擦は泥沼化の道を突き進むことになる。景気への影響は避けられず、投資家のリスク回避姿勢が強まる公算が大きい。本土市場も貿易摩擦激化への警戒感から軟調な展開となりそうだ。一方で下落局面では政府系機関による買い支えや上場企業による自社株買いも予想され、下げたとしても下値は限定的か。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技 (02382)	99.75	8.37
2 瑞声科技 (02018)	87.00	5.65
3 シバック (00386)	7.89	4.92
4 信和置業 (00083)	13.30	4.72
5 CNOOC (00883)	13.88	4.05
6 東亜銀行 (00023)	29.05	3.94
7 招商局港口 (00144)	16.02	3.76
8 恒安国際集団 (01044)	70.65	3.67
9 銀河娛樂 (00027)	58.10	3.66
10 ハンセン銀行 (00011)	212.80	3.50

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 テンセント (00700)	340.00	-3.95
2 中国人寿保険 (02628)	17.74	-3.59
3 万洲国際 (00288)	5.92	-2.63
4 ファイフ・コム (00762)	9.13	-1.51
5 碧桂園 (02007)	11.68	-1.35
6 中国蒙牛乳業 (02319)	22.65	-1.31
7 HSBC (00005)	68.85	-0.79
8 石業集団 (01093)	19.80	-0.60
9 恒隆地産 (00101)	15.50	-0.51
10 新鴻基地産 (00016)	116.50	-0.34

▼今週の主なイベント

- 9月3日(月)
- 【米国】レイバーデーで休場
- 9月7日(金)
- 【米国】雇用統計(8月)
- 9月8日(土)
- 【中国】貿易統計(8月)

▼今週の期待材料

- ◆ 国家統計局が先週発表した8月の中国製造業PMIは前月を上回る51.3に改善、市場予想を上回る
- ◆ A株企業3538社が中間決算を発表、比較可能な3535社の中間決算は全体で16%増益と2桁増益を確保
- ◆ 本土A株の下落局面では政府系機関による買い支えや上場企業による自社株買いが相場を支える公算

▼今週の懸念材料

- ◆ 中国税関総署が8日に貿易統計を発表、予想外に弱い結果だった場合には景気の先行き懸念が高まる公算
- ◆ 中国政府がオンラインゲームの販売数を制限する総量規制を打ち出す方針、ゲーム関連銘柄に逆風
- ◆ 対中制裁関税の第3弾の公聴会が6日に終了、早ければ週内にも制裁関税が発動される見通しに

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 長江和記実業 (00001) : 伊通信会社の完全子会社化で当局の承認を獲得
- ☆ 招商局港口 (00144) : 6月中間決算は73%の大幅増益、市場予想上回る
- ☆ 中国中鉄 (00390) : インフラ建設22件の大口受注を獲得、総額231億元
- ☆ 復星国際 (00656) : 旅行事業子会社の分離上場を計画、香港証取に上場を申請
- ☆ 中国国際航空 (00753) : 貨物輸送子会社を親会社に売却、売却益4.1億元の見通し
- ☆ 中国重汽 (03808) : 6月中間決算は69%の大幅増益、トラック販売の増加が寄与
- ◇ 遠洋集団 (03377) : 8月の不動産販売額は2%増、販売面積は1%増とほぼ横ばい
- ★ 信徳集団 (00242) : 監査法人が6月中間決算に対して限定付適正意見を表明
- ★ テンセント (00700) : 当局がオンラインゲームの販売数に制限をかける方針を発表
- ★ 中国華融資産管理 (02799) : 6月中間決算は95%の大幅減益、引当金増加など響く

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。